

水中ウォークをなくさないで

江戸遊の水中ウォークは、接骨院でもお勧めで、足の痛みをとるのにベストなトレーニングなのに、来年からなくなるかもしれないと聞いた。継続して、充実していけば、多くの高齢者の健康づくりになるはずなのになぜ？ (紺屋町 Nさん)

子どもが外遊びできる場所

千代田区はマンションや子どもを増やしすぎて、公園にはいくつもの保育園の子どもたちが一緒に使っているような状態。子どもを増やすなら公園や園庭、校庭を広げるよう、周辺の土地を購入してほしい。(三番町 Nさん)

番町は文教地区のはずですよ！

平成27年には四番町の女子学院が隣接の日テレ新スタジオ建設によって大混乱をさせられ、今度は六番町の雙葉学園がM地所のマンションで日陰になる。こんなことで、千代田区の教育と文化は守れるのだろうか。(四番町 Sさん)

築年数の古い小学校を優先して

番町小学校の方が古いのに、それより新しい四番町図書館をそんなに急いで建てなければならぬのか理解できません。番町小学校を建て替える計画を前倒しでやるべきではないでしょうか。(六番町 Pさん)

住民不在の平河町仮住宅建設

平河町仮住宅については区議会から、昨年より3回も、「住民説明会をせよ」、「住民の意向調査をせよ」と、審議を担当する委員会あげての行政指導がされてきました。しかし53戸12階建ては計画通り着工されてしまった。15億円そのものが無駄遣いで、平河町の地域住民を軽んじている。四番町の居住者もあんなに反対しているのに気の毒。(平河町 Mさん)→詳しくはウェブで

これ以上マンション増やしてどうするの

千代田幼稚園はすでに定員一杯なのに、区は千桜小跡地(神田東松下町)にまでマンションを増やして子どもたちはどうするのかと、区民は心配しています。(岩本町 Aさん)

千代田の風格は何処へ

皇居のまわりをこれ以上、超高層で取り囲んでどうするのか。少しやりすぎではないのか。(九段南 Kさん)

近隣住民なのに何も知らされないのは何故？

明大通りのプラタナスが取り除かれてしまったが、地域に住んでいてもそのような計画があることを聞いたことはない。このようなやり方は大いに疑問、区は一人一人の住民ともっと真摯に向き合ってほしい。(駿河台 Cさん)

沢山の方々の声を受け止めた2017年。2018年は、さらに前進します。(小枝)

10年遅れの障がい者支援を前へ

この2年間で、区議会の投げかけから、長年の課題だった障がい者のすまいや、就労、学習支援の充実などやっと光が見えてきたように思う。来年は具体的に前に進んでほしい。(岩本町 Yさん)

区議会ウォッチ 区民の目線

ちよだの声 NEWS No.11

平成30年(2018年)1月5日発行
〒102-8688
千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階
千代田区議会無所属会派「ちよだの声」
区議会議員 小枝すみ子
URL: <http://chiyoda-no-koe.net>
✉: office@chiyoda-no-koe.net
TEL: 03-5211-4322 FAX: 03-3237-9805

— ご存知ですか? —

千代田区民の税金 500億円の使い方



プロジェクトをスタートしました!

開かれた区政をめざして

平成29年千代田区は区長選・都議選そして衆議院選挙と続き、ドンvs小池都知事バトルの直下となりました。わたしたちは、選挙の様子が連日テレビで知られるという初めての経験をしました。

結果は、ご存知のとおりです。深層をご存知ないマスコミの方々が、「ちよだの声」事務所に押しかけ、質問に答える日々でした。しかし、報道される内容は上滑りなものに終始し、「国民が面白いかどうか」で描かれてしまう状況でした。

この「ご存知ですか? 500億円の使い方」は、千代田区で今どんなことが起きているのか、7期25年の経験をもとに議会にいるからこそ引き出せる情報をみなさんと共有するためにスタートしました。詳しくは2-3ページをご覧ください。

- ✓スマホでも見られますのでご覧ください。
- ✓来年には縮刷版の冊子を作ります。
- ✓ちよだの声の事務所において下されば、プロジェクトの解説もいたします。

小林たかや区議の会派離脱により、ちよだの声は一人会派になりました。一人の力では限りがありますが、一人だからこそできることもあります。これまでと同様、議会ですっかりと発言し、調査し、みなさまに報告いたします。

不透明な政治が、終わらない千代田区!

千代田区議会は、平成27年の暮れに、政務活動費の月額10万円報酬上乗せ問題で世の中を騒がせました。しかし、区議会は区長の暴走にストップをかけました。平成28年の暮れには、区内で3か所同時に進んでいた街路樹伐採道路工事問題について何度も報道され、区議会は区民と行政の調整役を果たしました。ほかにも、さまざまな不祥事や無駄遣いを是正し、また極めて遅れた障害者福祉もスピードアップさせたり、これぞ二元代表の議会になってきたなと感じた瞬間でした。

しかし、昨年の区長選・都議選で勝負がついた途端、残念ながら急激に潮目が変わってきました。区議会がかつてのように行政の追認機関になりつつあります。これから1年4か月、次の区議選までは議会はクラス替えがありません。どうぞ、目を光らせてください。千代田区をより良くするのは、区民の厳しい目線と身近な議員への良識ある声かけです。そして、区議会に「問題意識をもって発言する議員を増やす!」これにつきます。

千代田区民の税金 500億円の使い方

プロジェクト

がめざすもの

～区民の財産を守るために～

区政自分事
プロジェクト

■区民は、区役所は区民のために税金で維持されている、学校も老人施設も道路も公園もみんなのために維持して運営していると思っています。それは一つの真実ですが、他方では、千代田区の場合、区民が目光らせていないと想定外の無駄遣いをするなどんでもないことが過去にはありました。
■未来の千代田区はどの方向に向かっているのか。行政と議会にお任せのままでは、区民の思いと異なる方向に向かってしまうのではないかと。そして今がまさにその時だという“危機感”を抱き→知ってもらいたい→目を光らせてもらいたい→放っておくと勝手に進んでしまう、ということをお伝えしなければと考えこのプロジェクトを立ち上げました。
■仕事や日々の暮らしでお忙しいみなさまにも、区政情報を身近に感じていただき、それぞれの時間に無理なく関わることにより、区政を区民の側に向けていくことがこのプロジェクトの目的です(=区政自分事プロジェクト)。

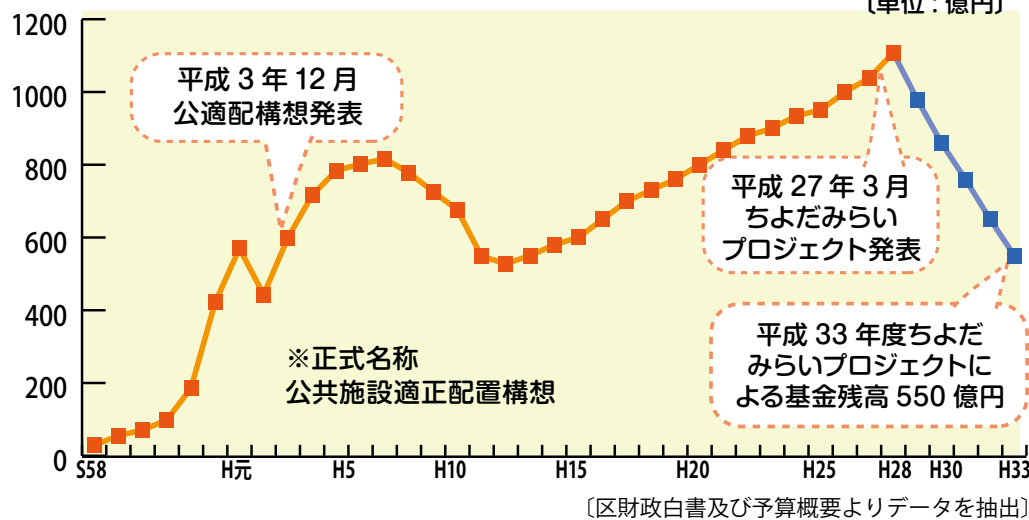
詳しくはこちらへ→
<https://www.chiyoda-fund.com>



「千代田区はお金がある?!」って 本当ですか?

～そんなことはありません! このままでは、必要なことをしないままに財政が困窮してしまいます。

■基金残高の推移

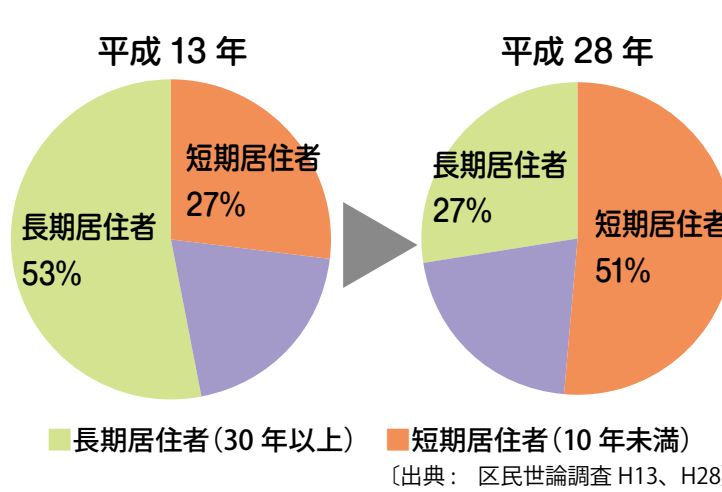


■23区比較

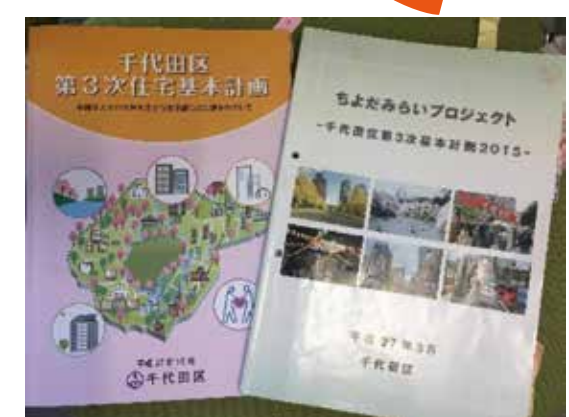
	28年基金残高	財政規模	財政規模と基金の割合
千代田区	1037億円	577億円	179.8%
中央区	449億円	874億円	51.4%
港区	1248億円	1293億円	96.5%
新宿区	376億円	1436億円	26.2%
文京区	655億円	883億円	74.2%
台東区	389億円	997億円	39.0%
墨田区	1252億円	1120億円	11.2%
渋谷区	736億円	918億円	80.1%
中野区	593億円	1333億円	44.5%

注目

■千代田区居住年数構成



■行政計画冊子



1 - ご存知ですか? -

震災対策、待機児対策、商店街振興、定住政策すべてに遅れていることを

～世界に類をみないアンバランスを背負う千代田区～
確かに、全国的に見れば、6万人人口で一般会計599億円(平成28年決算)といえば、裕福な自治体であることは間違いありません。しかし、在勤者は85万人、大学生、小中高私立学校の生徒さん、外国人を含む来街者など、100万人をはるかに超える方々が日々千代田区に集っています。この現実に対して、防災や健康づくり、保健所、スポーツセンターなど、昼間人口に対して対応すべき行政需要は、他には類を見ません。
また、千代田区内は災害時の計画が、屋内にとどまるという前提で立てられています。3.11の際の区内の混乱や、熊本地震で明らかになった「長周期パルス」による超高層ビルへの対応など、いのちに関わるものが直視され

ていません。物資輸送のインフラ、瓦礫など災害ごみの仮置き場など現状ではすべてが不足しています。

2 - ご存知ですか? -

地方消費税配分による区の収入減と急激な住民増による支出増のことを

基金残高の推移のグラフと23区の比較の表をご覧ください。これを見ても確かに千代田区は基金(=区民の貯金)が多く積みあがっています。これは、バブルがはじけた平成3年当時に千代田区が打ち出した公共施設づくりが区民の反発を買って頓挫したことにより当時予算を使い切らなかったことや、その後の職員削減等で生み出してきた区民と職員の努力によるものです。結果として、文化事業や障がい者福祉事業などいくつかの分野では他の自治体よりだいぶ遅れているものが生じています。そのような状況にあって、このたび国の審議会が主導し

て、東京都下の消費税配分を他府県に振り替える方針が決定されてしまいそうです。千代田区への影響も最大で百億円レベルと言われ、大打撃です。
また、住民が急増することで、区民税が10年で15億円増えても、子どもと高齢者の福祉に要した経費は保育園などの施設整備をのぞいても32億円アップ(H17-26)、つまり人口が増えれば支出はもっと増えていきます。

3 - ご存知ですか? -

このままでは都心のコミュニティーは存続の危機だということも今後10年の道筋は「みらいプロジェクト2015」ですでに決定されているということも上の円グラフにて、15年間の変化をご覧ください。住民目線でさまざまな施策を行って来なかった結果、

長期居住者は減り、住み続けられないまちになっています。行政は上の写真のような行政計画で、施策を進めていますが、住宅施策もその他総合的な施策もこの冊子に道筋が記され決定されています。たとえば、平成62年完成の和泉小学校がすぐにも建てかえ工事とされ、昭和47年竣工の番町小学校はそれより7年も遅れての着手予定と記されています。不可解です。このようなことがほかにも散見されます。

千代田区がどこよりも進んでいると自負する、特別養護老人ホームや保育園の待機者も実はまったく解消のめどが立っていません。10月末現在特養待機202名、12月5日現在保育園待機18人、隠れ待機334人、待機児ゼロとは、かけ離れた状態です。

ウェブにほくたちのマンガもってるよ!!

